

「海の出前授業」派遣レポート

- ・都道府県 東京都
- ・派遣先（学校名） 東京都羽村市立 武蔵野小学校
- ・授業タイトル 暮らしと海のかかわり
- ・講師名 森岡 優志（海洋研究開発機構アプリケーションラボ）
- ・派遣年月日 2020 年 9 月 17 日

派遣者コメント

小学校 4 年生約 80 名を対象に、暮らしにおける海の役割について、2 コマ（90 分）授業を行いました。武蔵野小学校は笹川平和財団が推進する海洋教育パイオニアスクールプログラムの採択校となっており、持続可能な社会創りに向けた SDGs 教育が盛んに行われています。校舎に入ると、SDGs のロゴが壁一面に貼ってあり、海が SDGs の 14 番に相当するなど児童が知っており、SDGs の認知度が高いことに驚きました。

前半の授業では、水や食料、エネルギーなどを通して、遠く離れた海が私たちの暮らしを支えていることを紹介しました。後半の授業では、台風や大雪など気象災害における海の役割や、近年深刻化しつつある海の温暖化や酸性化、さらに水や食料などを通して暮らしにどのような影響を与えるか、議論を行いました。授業で質問や動画などを駆使したせいか、児童の反応がとても良く、理解度が高かったです。授業の最後に、海から離れた小学校ですが、海に行きたくなったという感想を児童から伺い、とても嬉しく思いました。このような素晴らしい機会を作ってくれた、武蔵野小学校の先生方に心より感謝申し上げます。

